

港区議会議員

区民相談は
お気軽に!

池田たけしNEWS

一人のために、地域のために



発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441
発行日：2024年4月10日 URL：https://ikeda-takeshi.net



令和6年第1回港区議会定例会

一般質問

公共工事の入札不調の今後の対応について

Q 人件費高騰、残業規制など建設業の厳しい現況下で、今後入札不調の対策をどのように図るのか

A インフレスライド適応、適正工期算定、技術者効率派遣で不調回避を目指します。

HPVワクチンの接種について

Q 男性への接種助成と安全性確保のための積極的な取り組み施策を行うべき

A 男性への接種での厚生科学審議会などの情報収集し、国に検討早めるよう働きかける

令和6年度予算特別委員会

総務費

災害時の在宅避難について

Q 防災備蓄品収納ヒントを写真や絵にまとめ、港区ホームページや港区防災アプリに掲載を

A 写真やイラストなどを交え、より充実させわかりやすく工夫するとともに新たに開設する防災Webポータルサイトなどを用い、区民へわかりやすく周知します。

Q 首都直下地震など混乱する状況の中で正確な区の防災情報を速やかに受発信できる対応、対策を。

A 港区防災Webポータルサイト、災害時優先携帯電話、導入する災害時自動安否確認システムなど様々なシステムを活用する。

民生費

高齢者支援の対応充実について

Q 高齢者に起こり得る生活や身体などの変化を踏まえた適切な助言ができるよう相談体制の更なる強化・拡充を

A 福祉など各部署や機関との連携を強化、ふれあい相談員の訪問活動との緊密な連携を図るなど、切れ目のない相談及び支援体制の強化に取り組む。

衛生費

子どもホスピスについて

Q 小児がん診療病院の慈恵大病院などと連携し、港区立がん在宅緩和ケア

支援センター「ういケアみなと」のサテライトとして子どもホスピスの設置、相談・支援体制の整備を。

A 「ういケアみなと」の相談体制の強化を図り、情報発信も積極的に取り組む。

総括質問

安全な歩行・通行空間の確保について

Q 電動キックボードやモペットなど混沌とした交通の安全確保を。

A 警視庁やシェアリング事業者と連携した街頭キャンペーンの実施、販売店に正しい利用の普及啓発の協力など、全ての人が道路を安全・安心に利用できるよう取組を連携する。

その他

- ・デフリンピックを契機に障がい者への理解促進を
- ・法人格バーチャルオフィス事業者への融資あっせん相談
- ・マンション管理アドバイザーの耐震改修を見据えた相談体制
- ・歯科検診からかかりつけ医を習慣づけ国保財政健全化などを質問しました。



共通実績(令和6年1定)

「こども誰でも通園制度」が前倒しで実施に!

「港区版こども誰でも通園制度」を4月から2園で試行実施します!
区では保育園に在籍していない区内在住の生後4か月から5歳児クラス年齢の乳幼児に、月100時間程度(週2~3回)の利用要件を問わない定期的な集団保育を区独自で拡大して提供します。保護者に対しても定期的な面談などを行い子育ての孤独感や不安、負担を軽減します。「こども誰でも通園制度」は、公明党が専業主婦の家庭にも子育てで悩み、孤立している人がいるとして創設を推進し、港区議会公明党も2023年11月の定例会一般質問で、早期導入を訴え、国では、2026年度の本格的な実施の予定ですが、港区は前倒しで実現に!



オリジナルのデザインマンホールで観光振興を推進!

「月にかわって おしおきよ!」の決めゼリふで有名な作品「美少女戦士セーラームーン」。同作にゆかりが深い港区は、2024年3月、全国で初めて登場人物をデザインしたマンホールのふたを区内5カ所に設置しました。「セーラームーン」シリーズは、少女たちがチームを組んで地球を守るために敵と戦う物語。1992年に第1シリーズがテレビアニメで放映され、爆発的な人気を獲得した。今も国内外に多くの根強いファンがいます。区にゆかりあるアニメの、オリジナルのマンホールのふたやカード作成を用いた観光振興策について、2022年9月定例会の代表質問で提案し、実現!



医療的ケア児へのタクシー券配布など実現!

港区は、障がい者へのタクシー利用券等のサービスを、都内で初めて、医療的ケア児に拡大。
港区議会公明党は、2023年11月港区議会定例会一般質問で、障がい者手帳を持たない医療的ケア児に対しても、障がい児と同様のニーズがあることから、サービスの拡充の必要性を訴え、実現に。
また、障がい者のタクシー利用券等の、給付額の引上げもあわせて実現!
昨年3月、港区議会公明党として、前年に引きあがったタクシー料金に見合うような給付額の引き上げを、港区長に緊急提言していました。
これらの制度拡充について、利用が多いので大変助かります、との医療的ケア児の保護者の方々からお声を寄せていただいています。



サッカー運動施設の拡充が決定

令和6年4月から江戸川河川敷グラウンドのサッカー場が新たに利用できるようになりました。希望される方が誰でもいつでも運動できる施設が必要であり、その確保が課題であるとして、令和5年第3回定例会で我が会派が他の自治体や企業と連携を図りながら確保・充実を図るよう求めてきたものが実現したものです。
今後もよりスポーツを楽しめるよう環境整備に取り組んでいきます。



経営者保証なしの区の融資制度が開始!

2024年3月15日から、国の制度として、中小企業が融資を受ける際、保証料に上乗せすれば、経営者保証を解除できる制度が開始されました。
これまで慣行として、経営者による個人保証付でない金融機関から融資を受けることができないことがほとんどでしたが、経営者や起業家の個人財産が取り立て対象になるため、新規事業や起業をためらう要因になってきました。
そこで、公明党の推進もあり、国の経営者保証なしの融資制度が開始となりましたが、港区の制度融資においても、国の制度改正を踏まえて、金融機関による融資の方法の見直しを早急に進めるべきと、2024年3月の港区議会予算委員会で訴え。その結果、港区の既存の制度融資においても、経営者保証なし融資が同年4月1日から実現し、上乗せ保証料も全額区が補助することに!



障がい者(児)日常生活用具の給付対象が拡充!

障がいを持つ方が安心して日常生活を過ごすために支給される用具の対象として、排泄予測支援機器及び医療的ケアが必要な方向けの災害用バッテリーを新たに追加することが決定。
これまで公明党議員団が現場の声を聴き、平成31年度予算特別委員会での質疑をはじめ機会を捉え要望してきたものが実現したものです。



お台場レインボーバス事業の継続とバス停の新設が決定!

港区はレインボーバスの自主運行を目指し、令和6年度までの運行協定を結び、運行経費などの補助を行なってきました。しかし以前コロナ禍前の水準まで戻っておらず、自主運行が厳しい状況です。
港区議会公明党は、平成27年6月定例会の代表質問や令和4年度決算特別委員会などで、地域の交通インフラとして重要な、レインボーバスの運行継続を要望してきましたが、その結果、運行協定を令和5年度~令和9年度の期間で再締結することが決定。
また、兼ねてより利便性向上のために「みなとパーク芝浦」前等に停留所を新設するよう要望していましたが、この度「芝浦一丁目駅」「高浜橋駅」が新設されることになりました。



区立小中学校の給食費が令和6年度以降も無償化に!

区は、令和5年9月から令和6年3月まで、物価高騰対策として、区立小・中学校給食費の無償化を決定しましたが、年度末までの時限的なものでした。
港区議会公明党は、昨年末に武井区長に提出した、令和6年度の予算要望書の中で、恒久的な無償化を求めた結果、令和6年度以降も区として給食費を無償化することが決まりました。

